

登録コード	E2161900	開講年度	2026			
授業科目	法律学				担当教員	関 良徳
英文授業名	Law				副担当	
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	金曜・4時限	対象学生
講義室	教育M301講義室	授業形態	講義	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー 該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】	
	26Eカリ, 25Eカリ, 24Eカリ, 23Eカリ, 22Eカリ, 21Eカリ, 20Eカリ					
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				・社会事象を公正・公平に判断する能力、及び、正義にもとづいた行動を実践する能力を身につける。	
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				・私たちの身のまわりの法・政治制度について理解を深めると同時に、法・政治的な考え方の基礎を身につける。	
(2)授業で学べる「テーマ」	多文化協働					
(3)全学横断特別教育プログラム	ローカル・イノベーター養成コース					
(4)授業の概要	この授業では、私たちの日常世界で生じている法律問題とその背景について概説する。それぞれの問題について、法律上、いかなる取り組みがなされているかを説明する。現在の法制度や法的対応が抱えている問題点を指摘し、改善策を検討する。身近な法律問題に自分なりの解決を示すとともに、他の受講生との討論からより公正な判断を導き出すための問題解決型学習を行う。本授業は男女共同参画に関する内容を含んでいます。					
(5)授業計画	第1回：ワクチン接種を義務化すべきか／各グループによる討論と発表 第2回：カジノを推進すべきか／各グループによる討論と発表 第3回：セックス・ワーカーになる自由はあるか／各グループによる討論と発表 第4回：人間の遺伝子を操作してよいか／各グループによる討論と発表 第5回：奴隷契約は有効か／各グループによる討論と発表 第6回：男性の育児休業取得を義務化すべきか／各グループによる討論と発表 第7回：ベーシック・インカムを導入すべきか／各グループによる討論と発表 第8回：男女別トイレは廃止されるべきか／各グループによる討論と発表 第9回：ヘイト・スピーチを規制すべきか／各グループによる討論と発表 第10回：子どもに選挙権を与えるべきか／各グループによる討論と発表 第11回：死刑制度を廃止すべきか／各グループによる討論と発表 第12回：移民を自由化すべきか／各グループによる討論と発表 第13回：フェイク・ニュースを規制すべきか／各グループによる討論と発表 第14回：捕鯨をやめるべきか／各グループによる討論と発表 (授業最終回で授業アンケートを行う。) 定期試験 ＊教育実習等での欠席者に対しては、適宜レポート課題での補講を実施する。					
(6)成績評価の方法	・個別の法的問題の理解度を測る講義内レポート（30％）、総合的な法的思考力を測る期末レポート（50％）、討論等への積極的な参加・貢献度（20％）で成績評価を行う。講義での討論に積極的に参加する学生を評価する。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90％以上 秀, 89-80％ 優, 79-70％ 良, 69-60％ 可, 59％以下 不可。					
(7)成績評価の基準	・授業で示した例題と同レベルの問題が解ければ「水準にある」、応用問題が解ければ「やや上にある」、やや難しい応用問題が解ければ「かなり上にある」、例題からは難しい応用問題が解ければ「卓越している」。					
(8)事前事後学習の内容	・授業の最後に次回の事例を示し、その事例に関して、授業内容の復習を兼ねた課題レポートを作成する。 ・この授業は90時間の学修を必要とする内容です。従って、60時間以上の時間外学習が必要となります。					
(9)履修上の注意	・講義で与えられた課題について、その論点について調べるとともに自分なりの見解や解決方法を準備する。					
(10)質問、相談への対応及び連絡先	・随時、研究室にて対応する。メール(yosseki@shinshu-u.ac.jp)にて事前にアポイントメントをとることが望ましい。					
【教科書】	瀧川裕英編『もっと問いかける法哲学』法律文化社，2024年。					
【参考文献】	必要に応じて適宜紹介する。					